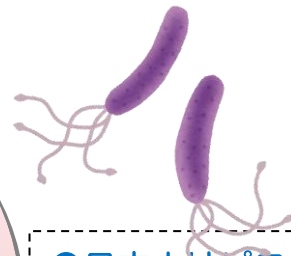


ピロリ菌検査 のすすめ 親子で受けましょう



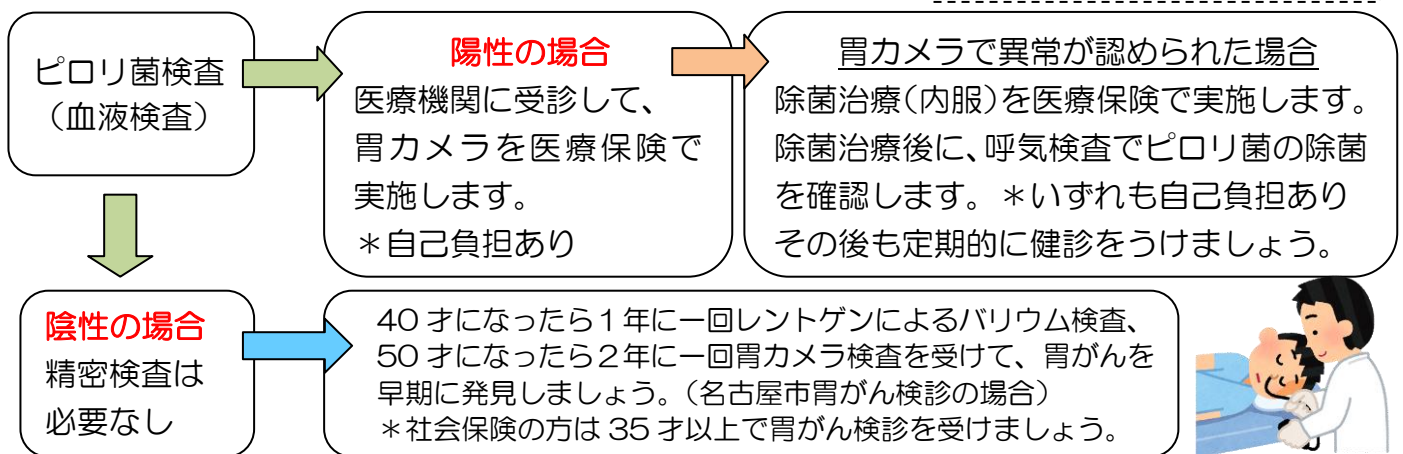
ピロリ菌感染の 有無を確かめ 胃がん予防を すすめるための検査です

- 日本人はピロリ菌感染による胃がんの発生が多く、感染している親からの感染で若い方にも、ピロリ菌による胃がんの発生があります。
- 検査方法：採血による検査
- 検診費用



名古屋市公費ピロリ菌検査 対象：20才～39才	無料 (一生に一回)
自費 ピロリ菌検査 対象：どなたでも	組合員：1250円 *税込み 未加入者：2300円

- 日本人はピロリ菌に感染している人が多く、60才以上では50%以上の感染率で、年代が高くなるにつれ感染率は上がります。20代10%、30代20%程度の感染率とされています。
- ピロリ菌の感染は井戸水などからで、感染した親から子どもへの口へと家庭内感染が多く、ピロリ菌に感染しやすい時期は、胃の発達が未熟な乳幼児期までとされています。そのため若いうちにピロリ菌感染の有無を検査し治療しておく、胃がんの予防になりますし、子どもへの家庭内感染を防ぐことにもつながります。
- 特に小さなお子さんをお持ちの20代30代の方にお受けいただき、次の世代に感染させないことが大切です。
- 若い方とご両親そろっての検査をおすすめします。



お申し込み・お問い合わせは、総合病院 南生協病院 コープ健診ドックセンターまでお願いします
052-625-0489 (平日 10時～16時30分、土 10時～11時30分)
～かなめ病院・診療所でも可能です～